

NEWS RELEASE

報道関係各位

2019年11月14日

アライドテレシス株式会社

移動体での通信に最適な AWC-CB(チャンネルブランケット型無線 LAN)と AWC(自律型無線 LAN)と AGV(自動搬送車)の動作検証により 次世代のファクトリー・ネットワークの共同検証を実施

アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎)は、2019年8月上旬、田辺工業株式会社(本社 新潟県上越市、代表取締役社長 四月朔日 義雄)とともに次世代ファクトリー・ネットワークシステム向けに AGV(自動搬送車)と AWC-CB(チャンネルブランケット型無線 LAN)ならびに AWC(自律型無線 LAN)を組み合わせた搬送システムの共同検証を実施しました。

【共同検証の目的】

従来、通信の切断や遅延が発生していた AGV の無線 LAN 通信において、AWC-CB(チャンネルブランケット型無線 LAN)と AWC(自律型無線 LAN)を用いることで安定した通信の実現性を検証します。

【共同検証の概要と結果】

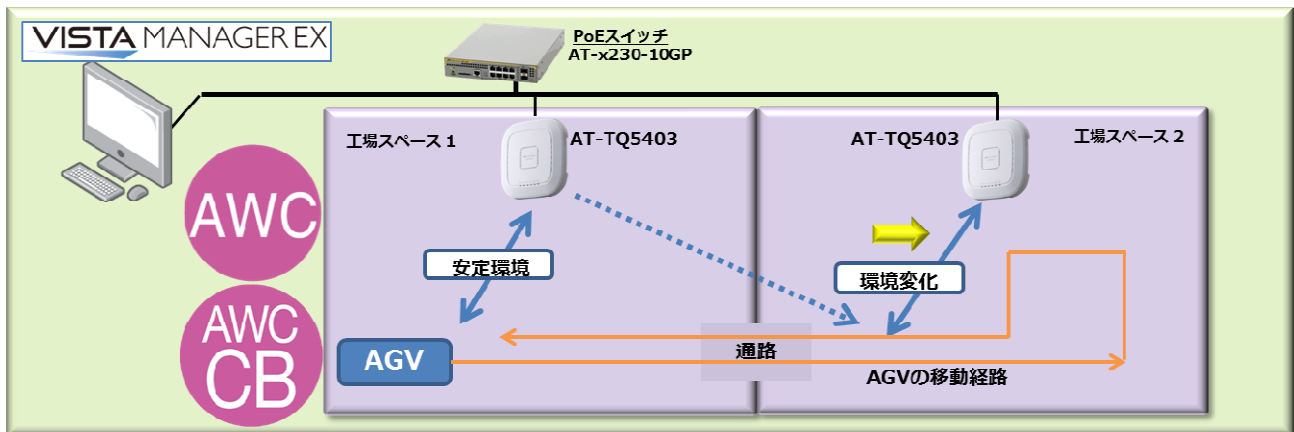
AWC-CB(チャンネルブランケット方式)と AWC(自律型無線 LAN システム)で動作する AT-TQ5403 を工場の二つの作業スペースに設置し、AGV が二つのスペースを移動する際に AGV システムでの安定運用ならびに無線 LAN のコントローラーである AT-Vista Manager EX での AGV の位置測定に問題がないことを検証しました。

この検証では、AWC を用いて工場環境に最適な無線環境を自律構築することにより、AGV システムを安定して運用できることを確認しました。この時、AGV の移動時に接続する無線 LAN アクセスポイント(AP)の切り替えを行わずに通信が継続されました。

また、AWC-CB でも AGV システムが安定して運用可能であることを確認しました。こちらは、AGV の移動時に動作している位置に従って潤滑に AP との接続を切り替えることができました。AGV の無線 LAN の接続条件によらず、AWC-CB にて最適な通信を動的に切り替えることを確認しました。

AWC、AWC-CB がファクトリー・ネットワークで最適な無線環境を構築し、AGV の安定運用が可能であることを確認しましたが、AWC-CB が AGV の動作位置に従って接続する AP を切り替えることにより、多くの機材や人が移動するファクトリー・ネットワークでは AWC-CB が最適であることを確認することができました。

【共同検証の概要図】
システム図



- ・ AGV : WYN-200 (1台)
- ・ 無線 LAN : AT-TQ5403 (2台)、AT-Vista Manager EX

弊社は、今後も無線 LAN の問題であったローミング/スティッキークライアントの問題を解決する AWC-CB(チャンネルブランケット型無線 LAN)をさまざまなシステムと検証を実施して無線 LAN の利用シーンの拡大を進めていく予定です。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

アライドテレシス株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2TOC ビル
TEL : 03-5437-6042 FAX : 03-5437-6044
担当 : マーケティングコミュニケーション部
E-Mail : pr_mktg@allied-telesis.co.jp

・記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。
・記載されている内容、サービス/製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、記載されている計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。